

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	臨床支援技術学実習 (Practicum of Clinical Support Technology)		
ナンバリングコード	S20425	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 臨床医工学
単位数	1	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	コース必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S012751	クラス名	-
担当教員名	砂子澤 裕、安部 祐治、西村 まどか		
履修上の注意、履修条件	提出物等は、提出期日を必ず厳守すること。 事前および事後学修は必ず実施すること。 正当な理由がない限り、無断欠席・遅刻は原則認めない。 臨床医工学コースの学生は必ず履修すること。 オフィスアワーは、毎週月曜日9:00～10:30に担当教員の研究室とする。		
教科書	最新臨床工学講座 医用治療機器学 (医歯薬出版) 別途、実習書およびプリント等を配布。		
参考文献及び指定図書	臨床工学技士標準テキスト第4版 (金原出版) MEの基礎知識と安全管理 改訂第8版 (南江堂)		
関連科目	医用機器学概論、医用治療機器学、生体計測装置学		

○基本情報			
授業の目的	1.臨床支援技術に必要な実践的基礎について説明できる。 2.内視鏡機器・内視鏡外科手術機器・心血管カテーテル関連機器の各種名称と役割を説明できる。 3.内視鏡機器・内視鏡外科手術機器・心血管カテーテル関連機器の原理と構造を説明できる。 4.内視鏡機器・内視鏡外科手術機器・心血管カテーテル関連機器を確実に操作できる。 5.内視鏡機器・内視鏡外科手術機器・心血管カテーテル関連機器をシミュレートできる。 6.内視鏡機器・内視鏡外科手術機器・心血管カテーテル関連機器の検査手技を修得できる。 7.内視鏡機器・内視鏡外科手術機器・心血管カテーテル関連機器の保守管理ができる。		
授業の概要	臨床支援技術学で修めた知識をもとに、臨床支援技術の実践能力を修得する目的で、内視鏡治療・検査の手技、心・血管カテーテル治療・検査について、内視鏡装置、心・血管カテーテル治療・検査シミュレーション装置を使用しながら、実践的な臨床支援技術に関する知識と技術を身に付ける。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「実験・実習形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	臨床支援技術は、臨床工学技士の実践業務において欠かせない業務であるため、科目担当者の実践業務に基づいた授業を展開する。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】	生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。	20点	10点	
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	20点	10点	
【ディプロマ・ポリシー3】	医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。	20点	20点	
【ディプロマ・ポリシー4】				

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
期末試験は100点満点で行い、60点満点に換算する。 レポート等の学習成果は、その内容により評価し40点満点とする。 課題のフィードバックは、実習開始前および終了後や適宜、随時実習中に実施する。 期末試験を受けるためには、3分の2以上の出席が必要である。	

○その他	
実習内容についての質問等は、実習前後に教室で受け付けます。 学習等に関する相談は、実習終了後かオフィスアワーの時間(毎週月曜日9:00～10:30)に担当教員の研究室で行います。	

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	臨床支援技術学実習 (Practicum of Clinical Support Technolo 砂子澤 裕、安部 祐治、西村 まどか	授業コード	S012751
学修内容				
1.【全体説明会】 臨床支援技術機器の備品管理および事前・事後学修・レポートの書き方を修得できる。				
	予習	臨床支援技術機器の管理について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
2.【臨床支援技術学概論】 臨床支援技術に必要な実践的知識の基礎として、臨床的な病態・治療法の実際について修得できる。				
	予習	臨床支援技術の概要について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
3.【内視鏡治療・検査関連機器演習・実習1】 内視鏡機器の原理・構造等の実際と技術について修得できる。				
	予習	内視鏡機器の原理・構造について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
4.【内視鏡治療・検査関連機器演習・実習2】 内視鏡機器による診断・治療概要と関連機器等の実際と技術について修得できる。				
	予習	内視鏡機器による診断・治療概要と関連機器について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
5.【内視鏡治療・検査関連機器演習・実習3】 内視鏡機器の洗浄・消毒法、保守点検、電気安全等の取扱い法・安全管理の実際と技術について修得できる。				
	予習	内視鏡機器の保守管理について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
6.【内視鏡による外科的治療関連機器演習・実習1】 内視鏡外科手術機器の原理・構造・適応等の実際と技術について修得できる。				
	予習	内視鏡外科手術機器の概要について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
7.【内視鏡による外科的治療関連機器演習・実習2】 内視鏡外科手術機器による治療概要と関連機器等の実際と技術について修得できる。				
	予習	内視鏡外科手術機器による治療概要と関連機器について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
8.【内視鏡による外科的治療関連機器演習・実習3】 内視鏡外科手術機器の保守点検、取扱い法および安全管理の実際と技術について修得できる。				
	予習	内視鏡外科手術機器の保守管理について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	臨床支援技術学実習 (Practicum of Clinical Support Technolo 砂子澤 裕、安部 祐治、西村 まどか	授業コード	S012751
学修内容				
9.【心・血管カテーテル関連機器演習・実習1】 心・血管カテーテル治療の原理・構造・適応等の実際と技術について修得できる。				
	予習	心・血管カテーテル治療の概要について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
10.【心・血管カテーテル関連機器演習・実習2】 心・血管カテーテル治療による治療概要と関連機器等の実際と技術について修得できる。				
	予習	心・血管カテーテル治療による治療概要と関連機器について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
11.【心・血管カテーテル関連機器演習・実習3】 心・血管カテーテル治療関連機器の保守点検、取扱い法および安全管理の実際と技術について修得できる。				
	予習	心・血管カテーテル治療関連機器の保守管理について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
12.【内視鏡治療・検査手技演習・実習1】 内視鏡治療・検査手技の実際と技術について修得できる。				
	予習	内視鏡治療・検査手技について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
13.【内視鏡治療・検査手技演習・実習2】 内視鏡治療・検査手技の実際と技術について修得できる。				
	予習	内視鏡治療・検査手技について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
14.【心・血管カテーテル治療における電氣的負荷装置の操作演習・実習1】 心・血管カテーテル治療における電氣的負荷装置の操作の実際と技術について修得できる。				
	予習	心・血管カテーテル治療・検査手技について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
15.【心・血管カテーテル治療における電氣的負荷装置の操作演習・実習2】 心・血管カテーテル治療における電氣的負荷装置の操作の実際と安全管理技術について修得できる。				
	予習	心・血管カテーテル治療・検査手技について予習する。		約2時間
	復習	実習内容をレポートにまとめる。		約2時間
16.【期末試験】				
	予習			
	復習			